



KAWAI 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社河合楽器製作所
 コード番号 7952 URL https://www.kawai.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 河合 弘隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員管理本部長 (氏名) 伊藤 照幸 TEL 053-457-1227
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	53,581	0.2	2,742	△3.3	2,860	△4.8	1,995	28.8
2019年3月期第3四半期	53,487	3.3	2,834	33.3	3,003	24.4	1,548	△6.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,853百万円 (20.6%) 2019年3月期第3四半期 1,537百万円 (△32.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	232.82	-
2019年3月期第3四半期	181.27	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	53,048	26,485	49.8
2019年3月期	53,231	25,005	46.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 26,393百万円 2019年3月期 24,915百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	0.00	-	55.00	55.00
2020年3月期	-	0.00	-	-	-
2020年3月期 (予想)	-	-	-	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	0.9	3,100	△15.5	3,100	△20.9	1,900	△5.5	221.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	9,011,560株	2019年3月期	9,011,560株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	416,474株	2019年3月期	456,554株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	8,569,502株	2019年3月期3Q	8,542,162株

※当社は「信託型従業員持株インセンティブ・プラン（E-Ship）」を導入しておりましたが、2019年11月29日をもって終了しております。なお、野村信託銀行株式会社（カワイ従業員持株会信託）が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2020年3月期3Q 25,589株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、政府の経済対策により企業収益は高水準を維持しているものの、消費税増税による国内景気の低迷懸念や不安定な国際情勢の中において輸出や生産の一部に弱さが見られ、雇用所得環境は緩やかな持ち直しにとどまっております。世界経済は、米中貿易摩擦の長期化や中東情勢の緊迫化、欧州における不安定な政治情勢の影響もあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは第6次中期経営計画「Resonate 2021」を策定し、100年ブランドの確立に向け、祖業であるピアノづくりでトップブランドを目指し、各事業の強みをさらに深化させ、お客様満足度の追求・向上と音楽文化の発展を通して、企業価値・ブランド力の向上と持続的な成長に取り組んでおります。

国内では、教室・販売・アフターサービスを一体化した地域ユニット体制による営業活動の強化に継続して取り組み、カワイブランドの発信拠点となる店舗を最大限に活用し、誕生から20周年を迎えた『Shigeru Kawai』など高付加価値商品の販売に取り組みました。

海外では、米国やドイツでの直営店の活動などによる鍵盤楽器の販売拡大を図るとともに、中国や東南アジアでは、当社の強みである販売・音楽教室・調律・生産の四位一体のノウハウを活かして、中長期的な成長に向けた展開を推進しました。

商品政策としては、ダイナミックな響きの再現を可能にした響板スピーカーとアップライトピアノのアクションを搭載したハイブリッドピアノ『NOVUS NV5』を開発し、10月に発売しました。

また創立90周年の節目に合わせ創設した『Shigeru Kawai国際ピアノコンクール』の第3回を開催し、18の国と地域から234名のピアニストがエントリーしてハイレベルな演奏が繰り広げられ、大きな反響を頂きました。引き続き次世代を担うピアニストの発掘・育成や、世界の音楽文化の振興にも力を入れてまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 53,581百万円（前年同期比 93百万円増）、営業利益は 2,742百万円（前年同期比 92百万円減益）、経常利益は 2,860百万円（前年同期比 143百万円減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 1,995百万円（前年同期比 446百万円増益）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(楽器教育事業)

楽器教育事業は、主力のピアノは『Shigeru Kawai』やハイブリッドピアノ『AURES』などの高付加価値商品の販売が好調で、日本、欧州、中国で堅調に推移しました。デジタルピアノは販売体制の強化により中国で伸長し、欧州でも最上位モデルの『CAシリーズ』や、『CNシリーズ』が堅調に推移しました。しかしながら円高による為替影響により、売上高は 43,335百万円（前年同期比 257百万円減）となり、営業利益は 1,947百万円（前年同期比 97百万円減益）となりました。

(素材加工事業)

素材加工事業は、半導体関連部品や自動車関連部品の受注が減少したことなどにより、売上高は 7,418百万円（前年同期比 416百万円減）となり、営業利益は 846百万円（前年同期比 11百万円減益）となりました。

(その他)

その他の事業は、医療機関向けIT機器の販売やソフトウェア開発の受託の増加などにより、売上高は 2,827百万円（前年同期比 767百万円増）となり、営業利益は 26百万円（前年同期比 75百万円増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金の減少などにより 53,048百万円（前期末比 183百万円減）となりました。

負債合計は、未払金や短期借入金、長期借入金の減少などにより 26,563百万円（前期末比 1,662百万円減）となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益などにより 26,485百万円（前期末比 1,479百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月9日に公表いたしました内容から変更はありません。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものでありますが、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,798	10,365
受取手形及び売掛金	7,434	6,495
商品及び製品	5,496	6,672
仕掛品	1,552	1,438
原材料及び貯蔵品	2,208	2,832
その他	1,524	2,070
貸倒引当金	△153	△137
流動資産合計	29,861	29,737
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,870	4,641
機械装置及び運搬具(純額)	2,056	1,957
土地	6,345	6,334
その他(純額)	869	970
有形固定資産合計	14,142	13,904
無形固定資産	862	838
投資その他の資産		
投資有価証券	5,857	6,411
繰延税金資産	1,089	751
その他	1,541	1,549
貸倒引当金	△122	△143
投資その他の資産合計	8,365	8,568
固定資産合計	23,370	23,311
資産合計	53,231	53,048
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,265	4,844
短期借入金	5,859	5,454
未払法人税等	732	402
賞与引当金	897	372
製品保証引当金	94	88
その他	4,753	4,058
流動負債合計	16,602	15,221
固定負債		
長期借入金	1,091	775
環境対策引当金	29	29
退職給付に係る負債	9,479	9,455
資産除去債務	601	603
その他	421	479
固定負債合計	11,624	11,342
負債合計	28,226	26,563

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,122	7,122
資本剰余金	1,257	1,257
利益剰余金	17,189	18,712
自己株式	△1,061	△963
株主資本合計	24,508	26,129
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	873	1,112
為替換算調整勘定	△101	△559
退職給付に係る調整累計額	△364	△288
その他の包括利益累計額合計	407	263
非支配株主持分	89	91
純資産合計	25,005	26,485
負債純資産合計	53,231	53,048

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	53,487	53,581
売上原価	38,962	39,181
売上総利益	14,525	14,399
販売費及び一般管理費	11,690	11,657
営業利益	2,834	2,742
営業外収益		
受取利息	52	52
受取配当金	47	51
固定資産賃貸料	31	28
為替差益	70	52
その他	101	54
営業外収益合計	303	238
営業外費用		
支払利息	38	34
寄付金	34	42
その他	62	43
営業外費用合計	134	120
経常利益	3,003	2,860
特別利益		
固定資産売却益	0	—
受取補償金	7	10
特別利益合計	8	10
特別損失		
固定資産除却損	16	8
固定資産売却損	0	0
投資有価証券売却損	475	—
特別損失合計	492	8
税金等調整前四半期純利益	2,519	2,862
法人税等	967	859
四半期純利益	1,551	2,003
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,548	1,995

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,551	2,003
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	239
為替換算調整勘定	△103	△464
退職給付に係る調整額	83	75
持分法適用会社に対する持分相当額	7	0
その他の包括利益合計	△14	△149
四半期包括利益	1,537	1,853
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,540	1,851
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	43,593	7,835	51,428	2,059	53,487	—	53,487
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	342	343	287	630	△630	—
計	43,594	8,177	51,771	2,346	54,118	△630	53,487
セグメント利益 又は損失(△)	2,044	858	2,902	△49	2,853	△18	2,834

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△18百万円には、セグメント間取引消去67百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△85百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	43,335	7,418	50,753	2,827	53,581	—	53,581
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	405	406	312	719	△719	—
計	43,336	7,823	51,160	3,140	54,300	△719	53,581
セグメント利益	1,947	846	2,793	26	2,819	△77	2,742

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△77百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△89百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。